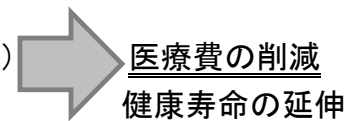


# 大野城市保健事業計画（データヘルス計画）【概要】（平成27年度～平成29年度）

目標 【短期目標】 健（検）診受診率の向上。

未治療者をなくす。健診結果の改善。（データの悪い人の割合を減らし、高・中リスクから健康層へ。）

【中・長期目標】 脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析（糖尿病腎症）の患者数・入院医療費等の伸びの抑制。



医療費の削減  
健康寿命の延伸

## 1. 国保医療費と被保険者の現状と課題

### 【健康課題】

- 特定健診受診率・特定保健指導実施率の低迷。
- 健診受診なし、かつ未治療者が多く、実態が未把握。
- 糖尿病・高血圧の治療者が少ない。
- 脳梗塞の件数が多い。（25年度県内2位）
- 全医療費に占める入院医療費の割合が高い。
- がんによる死亡、医療費が多い。

### 【考えられる要因】

- 生活習慣病の予防・治療が不十分  
⇒ 合併症を引き起こし重症化
- 治療が必要にもかかわらず、健診や治療を受けていない  
⇒ 気づかないうちに疾患が重症化し、突如発症

### 【優先すべき必要な対策】

- ① 健（検）診未受診者対策
- ② 生活習慣病の発症予防（メタボ対策）
- ③ 基礎疾患（特に高血圧、糖尿病）の治療者への重点的なアプローチ

## 2. 対象者と実施概要

	対象者	年間見込数	事業内容
高リスク	脳血管疾患や腎機能低下などの合併症の危険性あり	20人	精密検査受診勧奨、個別面接、訪問指導
中リスク	治療放置	130人	
	治療コントロール不良	50人	
低リスク	メタボリックシンドローム該当者及び予備群	118人	特定保健指導（個別面接）
健康層	異常なし 治療中コントロール良好	延 1,600人	運動に関する個別指導・集団教室
実態未把握（健診なし・治療なし）		約 4,000人	個別通知、電話勧奨

## 3. 数値目標（平成29年度）

特定健診受診率 29%（H26：24.7%） 特定保健指導実施率 26%（H26：19.9%）

※健康・食育プラン目標：H36 40%（特定健診受診率及び特定保健指導実施率）

HbA1c7.0%以上（糖尿病合併症の予防ライン）の未治療者 30人以下（H25：30人）

Ⅲ度高血圧以上（直ちに降圧剤治療開始ライン）の未治療者 15人以下（H25：15人）

## 4. 計画の評価方法

特定健診の結果やレセプト情報を自動集計した「国保データベースシステム（KDBシステム）」を活用し、目標値の推移を毎年把握する。最終年度の平成29年度に、医療費や健診結果などについて経年変化や県・同規模保険者との比較などで評価を行う。その結果を次期計画に反映させる。